

新年に寄せて

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は平成時代が終わり令和元年となりました。日中関係ではG20大阪サミットに習近平国家主席が参加し、両国関係は正常な軌道に戻りました。しかし、米中貿易摩擦の長期化が日本経済にも大きく影響するなど経済のグローバル化の波を感じさせられた一年でした。

日本にとっては、昨年は自然災害による「破壊」という言葉が真先に思い浮かぶ一年でした。10月の台風19号の大雨で千曲川が決壊、北陸新幹線の駐車場が水没し、100輛もの列車が泥水浮かんだ映像をはじめ、台風による各地の大被害が記憶に刻みつけられました。戦後70年以上復興から開発へ、そして経済成長を追い求めた結果、水害にしろ、温暖化にしろ、自然破壊を継続したことに対して自然が人間に「報復」したように思われます。同月末には沖縄の首里城が全焼しました。1945年沖縄戦で破壊され、1992年に復元された首里城が再び焼失しました。これらの「破壊」に対しては、過去の再現ではなく、新しい「復興」を進めなければなりません。

昨年、日中学院では日々の授業以外に、5月の千葉白子海岸での合同合宿を皮切りに、多彩な課外活動を展開しました。6月24日～7月29日には北京人民大学での本科2年生を中心とした短期留学を実施し、私も1晩寄宿舎に泊まり、授業参観もしました。

7月5日に孔鉉佑新中国大使が学院を訪れ、日本語科の授業を参観されました。同月中旬、日本語科のホームステイを行い、我が家にも3名の留学生が来てくれました。

別科は9月に天津外国語大学で短期留学を行い、帰国後に朗読大会を実施しました。

10月には日本語科を中心としたバスハイクや本所の防災施設の見学を実施し、恒例の全校あげての秋の文化祭を実施しました。

このように教学面だけでなく、課外活動においても楽しい充実したプログラムを実施することができました。これは学生諸君をはじめ、教職員全員の協力のお陰だと思えます。

2020年は中国の習近平国家主席が国賓として来日されますし、東京オリンピックも開催されます。こうした良好な雰囲気の中で、日中学院がさらに充実した教学活動を展開し、学院に集う皆さんにとって、さらに実り多い一年になるよう努力することを誓って、新年のご挨拶とします。

2020年元旦 日中学院 学院長 片寄浩紀

学好中国话，为日中友好起桥梁作用！

日中学院報

2020年 1

毎月1回1日発行 第538号

編集発行人・片寄浩紀

定価1部100円/1年1000円(送共)
郵便振替 東京 00100-38184

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-5-3
TEL 03-3814-3591 FAX 03-3814-3590
URL <https://www.rizhong.org/>
E-mail info@rizhong.org



小石川後楽園を散策しました

A 先生の新語コーナー



kēchuàngbǎn “科创板”

科创板ボード。“科创”は“科技创新”の略。上海証券取引所のハイテク新興企業向け株式市場で、昨年6月13日に正式に開設され、7月22日に取引を開始した。発行や取引などの制度は世界最大の新興企業向け株式市場として知られる米ナスダックを参考にしている。既存のメインボード市場から独立した新設市場であり、情報開示を核心とする証券発行登録制が試験的に導入された。上場基準も緩和され、欠損填補がなく黒字化を達成していない企業でも上場できる。(A)

2019年度日中学院文化祭報告

本科2年文化祭委員

日中学院は、幅広い年代の人々が中国語を学んでいる学校であり、文化祭は、本科生・別科生・中国からの留学生が日ごろの学習の成果を発表する場となっている。

本科は2年次になると、1年次に比べて宿題が格段に増えるだけでなく、6月からは北京への短期留学も必修となっているため、文化祭準備に割ける時間が減ってしまう。そのため近年、本科2年の出し物は、負担の少ない合唱であることが多かった。

今年の本科2年も、当初は合唱を軸に出し物を考えていた。しかし、例年とは異なる出し物をやりたいという希望もあり、短期留学中にクラスで話し合いを重ねた結果、劇を軸に出し物を考えていくことに決まった。

劇の内容は、担任である張蕾先生の提案により、留学中に起きた出来事に基づいたものとなり、それ

ぞれのグループが自分たちで台本や演出を考えた。台本は、それぞれが考えたものを先生に添削してもらいながら完成させ、小道具や舞台上に映すパワーポイントなども自分たちで作成した。限られた時間の中で台詞を覚え、演出に合わせるが大変だったが、本番では特にトラブルもなく、無事に成功させることができてよかった。

模擬店では、こちらも張蕾先生の提案により、塩茹でピーナッツを作ることになった。材料のほとんどは先生に揃えて頂き、前日の仕込みでは研究科の方々にも協力して頂いたので、順調に作る事ができた。当日の袋詰め段階で、急遽値上げすることが決まり、売れるかどうか不安があったが、販売開始から30分も経たずに売り切れてよかった。

全体として今年の文化祭も成功して終わることができた。しかし、文化祭委員の在り方については多くの



本科2年 中国語劇「北京留学的酸甜苦辣」



本研朗読「吃」



日語科2A「十二人の怒れる男女」



校友会「ピースリーディング」



日語科1-1
盆踊り「2020東京オリンピック音頭」



学院長・本科有志 篠笛演奏「もののけ姫」

改善の余地がある。特に今年は、誰が委員長なのか明確でなく、それぞれの役割もあまりはっきりしていなかった。委員会の集まりでも、先生方が仕切ること

がほとんどだった。役割や指示系統を明確にして委員全員が仕事を受け持つようにし、協力して文化祭を運営できる組織にしなければならないと思った。



日語科2-1歌「君がくれたもの」



子ども中国語クラブ「歌と朗読」



別科有志「歌・シャンソン」



本科1年アテレコ「櫻桃小丸子」



中国結び展示・販売



書道展

図書室 だより

2019年 ベストリーディング

三年目となりましたベストリーディングの発表です。今回も中検とHSKの過去問にはベンチ入りをご遠慮ねがい、その他の図書たちでのベスト10争いとなりました。網かけは本学院講師の著書です。なお、同じ順位での順番は図書室入荷順となっています。(出版社省略)

【順位】

- 1位. 『中国語文法補語完全マスター』 李軼倫
- 2位. 『改定新版 瞬訳中国語 初級編』 西井和弥
- 2位. 『改定新版 瞬訳中国語 初中級編』 西井和弥
- 2位. 『改定新版 瞬訳中国語 中級編』 西井和弥
- 5位. 『出るところだけ！ 中国語検定3級合格一直線』 長澤文子・盧尤
- 5位. 『中級中国語 読みとく文法』 三宅登之
- 5位. 『自転車泥棒』 呉明益著 天野健太郎訳
- 8位. 『日本人のための中国語発音完全教本』 盧尤
- 9位. 『キクタン中国語【上級編】中検準1級レベル』 関西大学中国語教材研究会
- 9位. 『日中・中日通訳トレーニングブック』 高田裕子・毛燕
- 9位. 『中国語で日本のことを話してみる』 秦燕・芳沢ひろ子

9位. 『耳を鍛えて合格！ HSK 5級リスニングドリル』 李増吉

9位. 『時事中国語の教科書 —2019年度版—』 三瀧正道・陳祖蓆

9位. 『超短文で話せる！ラク覚え中国語』 高木美鳥

【解説】

毎年圧倒的な人気で、ベンチで休む暇もないのが1位の『中国語文法補語完全マスター』、5位の『出るところだけ！中国語検定3級合格一直線』、そして前回、箱根駅伝の山の神に例えた8位の『日本人のための中国語発音完全教本』です。しかしそれら毎年の先頭集団に突如現れたのが『「1秒」で言いたい中国語がパッと出る』のキャッチコピーが学習者にインパクトを与えた『改定新版 瞬訳中国語』の三冊でした。瞬時に中国語に翻訳できる訓練の呼びかけは、学習者のニーズに応えたものでした。

一方、文学で初めてとなる嬉しいベスト10入りを果たしたのが、5位の台湾の小説『自転車泥棒』です。本書はイギリスで権威ある国際ブッカー賞にもノミネートされた力作です。父と共に行方不明になった自転車をめぐり、台湾の文化とともに日本の統治時代やアジアの歴史が背景からみながらストーリーが展開していくので、興味深く読みごたえある作品となっています。翻訳した天野健太郎氏は台湾の小説や童話を手がける有能な翻訳家でしたが、本書発行の二日後に47歳という若さでご病気により他界されました。惜しまれてなりません。

1 月の日中学院

星期日	星期一	星期二	星期三	星期四	星期五	星期六
			1	2	3	4
5	6 ●仕事始め開門 ●別科 276 期授業開始	7 ●別科公開講座 18:45 ~ 20:45 (入門、基礎)	8	9	10 ●本科、日本語科授業再開	11
12	13 ●祝日	14	15	16 ●本科選択授業聴講 (1)	17 ●本科 2 次募集受付締切	18
19 ●本科 2 次入試	20 ●本科追試 (~24 日)	21 ●本科 2 次入試合格発表	22 ●本科 3 次募集受付開始 ●日本語科国学生会学	23	24 ●日本語科春節パーティー	25 ●春節 ●本科公開講座③ 9:30 ~ 13:00
26	27	28	29	30 ●本科選択授業聴講 (2)	31	
●2月の日中学院 ・4日…本科、日本語科合同弁論大会 ・14日…本科3次募集受付締切 ・15日…中検受付締切		・16日…本科3次入試 ・18日…本科3次入試合格発表 ・19日…本科4次募集受付開始 ・21日…本科、日本語科定期試験(~28日)		・26日…藤堂先生命日 ・28日…日本語科授業最終日 ・29日…別科公開講座13:00~(入門)		



山口祐介シェフの料理講座を開催しました!!

メディアなどで多く紹介されている、若き中華の巨匠・山口祐介シェフは、日中学院本科 37 期の卒業生です。そんなご縁から 12 月 1 日 (日) 1 日集中講座の料理講座を担当してくださいました。当日は、蒸し鶏の 2 種ソース (葱油鶏・棒棒鶏)、上海小籠包、家常豆腐を家庭用レシピに再構築してご紹介くださいました。参加者は皆大満足でした。ありがとうございました!!



学院長の思い出話16

江沢民電子工業部長が来日

1985 年 5 月、協会の受け入れで江沢民電子工業部長が中国電子工業代表団を率いて来日し、私は 10 日間全面随行しました。代表団は超 LSI を製造する東芝の大分工場や、キヤノンの半導体製造機器工場等を精力的に視察し、筑波科学万博も参観しました。江部長はコンパニオンと楽しそうに英語で会話していました。

視察旅行のバスの中での雑談中に、私が「黄浦江沿の港では上海の経済発展の需要を満たせない」と語った時、最前列の座席にいた江部長が、思わず後ろを振り返って私の方を見たことを思い出します。(帰国後間もなく上海市長に転じ、浦東新区の外高橋港が建設されました。) 帰国前に日本の印象を聞いたところ江部長は「日本の大企業には武士道精神が生きている」との感想を述べたので、私は新渡戸稲造の「武士道」英文版を江市長に送りました。

改革開放の 1978 年に 50 億ドルであった日中貿易額は 10 年後の 1988 年には約 4 倍の 193.3 億ドルに拡大し、中国にとって日本は最大の貿易相手国でした。(片寄浩紀)

本科 2020 年度生募集中!!

本科 (2 年制中国語専門課程)
短期留学必修、専門士取得で大学 3 年次編入可能!!

本科研究科 (1 年制通訳翻訳課程)
通訳翻訳の基礎力を養成し、即戦力になる中国語を!!

- ・2次募集 受付: 12/4 (水) ~ 1/17 (金) 入試: 1月19日 (日)
 - ・3次募集 受付: 1/22 (水) ~ 2/14 (金) 入試: 2月16日 (日)
- 別科在籍者の方が、合格すると**入学金が半額**になります!!